

川崎市で新型 E V ごみ収集車を導入！ 1 0 月 1 7 日から試験運用を開始します

本市では、脱炭素社会の実現に向けて、走行時に排出ガスを一切出さない EV ごみ収集車を平成 3 0 年度に 1 台導入し、収集業務を行ってまいりました。このたび、当該 EV ごみ収集車において課題であったごみの積載量の改善につながる新型 EV ごみ収集車を 1 台購入し、実証導入します。

今回導入する新型 EV ごみ収集車は、三菱ふそうトラック・バス株式会社（川崎市中原区）製の E V 車両を使用しています。平成 3 0 年度にも電池交換型の E V 車両を 1 台導入しましたが、今回導入する新型 E V ごみ収集車は電池固定型（プラグイン型）となっています。従来の電池交換型は、交換するバッテリーを車載するスペースやバッテリーとの連結機構が必要に対し、今回、電池固定型はバッテリー埋込のため、スペースが確保できることで積載量が 4 0 0 k g 増加し、既存のごみ収集車（ディーゼル）により近い積載量となります。

新型 EV ごみ収集車の試験運用は、令和 7 年 1 0 月 1 7 日（金）から幸区及び中原区（中原生活環境事業所所管区域）で開始します。

1 概要

E V ごみ収集車は走行時に排出ガスを一切出さず、また、バッテリー駆動のため騒音や振動が少なく、地域の環境に配慮した収集作業を行うことが可能です。今回導入する新型 EV ごみ収集車は、三菱ふそうトラック・バス株式会社（川崎市中原区）製の E V 車両を使用しており、従来の EV ごみ収集車から、ごみの積載量が 4 0 0 k g 増加したことで、既存のごみ収集車（ディーゼル）により近い積載量となります。

今年度は中原生活環境事業所で実証導入し、走行性能や収集作業、充電方法の面について検証等を行う試験運用を令和 7 年 1 0 月 1 7 日（金）から行います。この検証結果を踏まえ、ごみ収集車等の計画的な導入を検討し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

なお、E V ごみ収集車を通常のごみ収集車と代替できた場合、1 台につき年間 1 3 t - C O ₂ が削減できる見込みです。

2 試験運用開始日

令和 7 年 1 0 月 1 7 日（金）

3 運行場所

幸区及び中原区（中原生活環境事業所所管区域）

4 導入台数

1 台

5 導入車両

車体メーカー	三菱ふそうトラック・バス株式会社
車両名	eCanter（イーキャンター）
架装メーカー	株式会社モリタエコノス
寸法	長さ 5,230mm 幅 1,900mm 高さ 2,300mm
積載量	1,750kg（通常のごみ収集車：2,000kg）
バッテリー	41kWh／リチウムイオン電池



充電時間	約 8 時間（通常充電）
	約 1 時間（急速充電）

6 デザインコンセプト

既存のごみ収集車をベースに、EVやCO₂ゼロを示すロゴを追加したほか、充電をイメージしたコードを描きました。充電コードは川崎市のロゴマークと同じ、赤、緑、青という光の三原色を使用しています。



問合せ先
 環境局生活環境部収集計画課 増田
 電話 044-200-2582